

ワーキンググループ B

事業番号 B-41

(事業名) 指定講習事業

(法人名) (財)理容師美容師試験研修センター

評価者のコメント(評価シートに記載されたコメント)

講習の内容・意義が不明確であり、設立当時の目的ともズレてきている。

資格の存在意義が理解できない。

講習自体が不要。

本講習の必要性自体が明確に説得力をもって説明されなかった。そうである以上、民間の負担で独占的な事業を行わせるべきではない。

制度自体を一から見直す必要がある。最も有効な研修手法になるよう再検討を。

説明を聞いても、テキストの一部を見ても、(財)理容師美容師試験研修センターのみが実施する専門研修と判断することはできない。専修学校(養成機関)に委託することも含めて競争的環境を整備すべき。

(見直しを行う「その他」、とした上で)講習内容を精査し、公衆衛生上必要な知識なら、1人の店でも義務付けるべき。

WGの評価結果

廃止

(管理理容師・美容師講習の廃止)

権限付与自体の廃止 7名

見直しを行う 1名(講習内容を見直すべき 1名)

とりまとめコメント

公衆衛生についての理解を深めていくことに関して、評価者は何ら疑問を持っていない。ただ、この講習制度の立てつけ上、理容師・美容師が2名になったら受けなければ

ならないことの合理性が、本日の説明では理解できなかった。

公衆衛生に関して、理容師・美容師の資格を取得する際に、より一層、公衆衛生について理解を深めさせることはいいと思うが、わざわざ2名になる時にこれを受けなければならないと義務付けることについては、当WGとしては理解できない。このため、権限付与自体の廃止、すなわち、2名になると受けなければならないという講習制度自体の廃止・見直しを結論とさせていただく。